

きょうのテーマ

仙台・生出地区はどんな地域？

ニュース



こども記者が取材



スマイルームの2階で太田さん(左)と沼田さん(左から2人目)に取材する2人

仙台市太白区生出地区は、どんな地域なのか。生出小5年の川村恵菜さん(11)と佐藤義知さん(11)がこども記者となって、同地区まちづくり委員

2人は10月中旬、住民の交流拠点「スマイルーム」を訪れました。まちづくり委員会が東北工大と共に空き家を改修し、2022年に完成させた施設です。敷地内には、皮をむいた柿が鈴なりに干してあ

員会や同小のさわやか相談員に取材したよ。(8面に関連記事)

みんな思い出

みんな動こう

仲間づくりの拠点整備



佐藤さんが「なぜスマイルームを作ったのですか」と聞くと、沼田さんは「14年の委員会発足当時から、人口減少をどう改善しようか話し合ってきました。みんなが集まれば楽しいことができると、仲間づくりの拠点をつくることにしました」と話しました。

1階に炊事場、2階には机を並べたカフェのような空間が広がりました。外にトイレも整備しました。副委員長の太田孝さん(58)は「誰でも



入りました。「みんなで協力して作業したのよ」と委員長の沼田恵美子さん(72)。干し柿は地元のスーパーなどで販売し、活動資金にします。

みんな知りたい

みんな守ろう

「住みよい生出をつくるために、みんなで考えて工夫していきたい。君たちにも、盛り上げる役割を担ってほしいです」。沼田さんと太田さんが話すと、2人は力強くうなずきました。

太白区によると、生出小学区の22年度の世帯数は約1340。住宅団地造成や大型店舗進出などで、18年度と比べて約170増えました。まちづくり委員会は町内会などと連携し、放課後児童クラブの施設を市に要望するなど、地域課題と向き合ってきました。



川村さんが「ルームをどのように使っていますか」と尋ねると「こんにやくや漬物を作る農業体験会を開いたり、月に2回、子ども食堂を開いたりしています」と沼田さんは答えました。

入りたくなるすてきなトイレにしたかった。お披露目会では、紅白の垂れ幕を張って祝いました」と振り返ります。

今週の注目ニュース

◇23日(木) 勤労感謝の日

国民の祝日の一つで、働く人たちに感謝する日。新米や農作物の収穫を祝う宮中行事の新嘗祭に由来します。毎日忙しく働いている家族がゆっくり過ごせるよう、家事を手伝うと喜ばれるかもしれませんよ。

みんなの紙面

- 2面 みんなのギモンにこたえるモン
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 こども記者インタビュー

みんなトモダチ